

關東都府

三

外務省

6-0257

0631

附屬
類添附

大正六年五月十四日接受

主管人事課

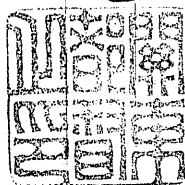
長岡

受13611號

一事務官五泉賢三外國出張件稟申書
右及進達候也

大正六年五月八日

關東都督男爵中村覺



外務大臣法學博士子爵本野一郎殿

大正六年六月一日 訂録第二

關東都督府

(大正五年十月松浦屋納)

6-0257

0632

文書課長

大正六年五月十五日 起草
同 年 月 日 附 送

送策

號

主任

次官

政務局長



主管人事課長



一關東都督府事務官五泉賢三外國
出張ノ件

右及進達候也

大正六年五月十五日

外務省

大臣

内閣總理大臣宛

大正六年六月一日

6-0257

0633

右秘甲万三八九号

古正六年五月八日

關東都督男爵中村覺

由外總理大臣伯爵寺内正毅殿

關東都督府事務方五泉賢三

右ノ者大連、中部支那及南部支那ノ貿易
關係及爲替、該金融事情調査、爲直隸山
東兩省ノ經濟、中部支那及南部支那へ出張
被仰付候様御詮議相成度此段及重中
候也

追テ旅費、當府經常費中ヨリ支辨可

致以段申添候也

大正六年六月一日

記録第二

外務省

電信課長 土佐

電報手内書入照会

四三三 平 都府府署 奎典 年 月 日 青 辰 二二二〇

大臣

次官

土佐

外務省

政務

人事課長

都府府秘書官

通商

五泉事務官 支那出張 件 奎典 年 月 日 青 辰 二二二〇

人事

標取計請

會計

文書

參政官

副參政官

大正六年六月二日 記録第二部 終

6-0257

0635

電信課長
秘書課長
志

大正六年五月廿一日起草
同年五月廿一日附

送第

號

主任

主管人事課長了

電信案

關東都督府秘書課長

人事課長

第四号

外務省

五泉事務官支那出張件 本日發令

セラル

電送第二九九號平
六年五月廿一日發

294
30

6-0257

0636

電信課長

大正

大臣

次官

政務

通商

人事

會計

文書

參政官

副參政官

大正六年六月二日 記録第二部接受

五五五
(平)

都督府秘書課長
大正六年五月十九日 第1235
市書署

人事課田中局 都督府秘書課長

五泉事務官吏部出張件至急可取計
上電報通知請

電信課長

大正

大臣

次官

政務

通商

人事

會計

文書

參政官

副參政官

大正六年六月二日 記録第二部接受

五五五
(平) 旅順費 大正六年五月 二十百四〇八
市書署

本野外務大臣 中村関東都督

秋芳四八號

當府事務官五泉賢三吏部出張件五月
二十一日付渡令相成、八歳更、香港及澳
門出張追加相成度稟申、内閣總理
大臣

6-0257

0637

文書課長

大正六年五月三十一日起草
同年八月廿四日附送

送第

號

主任

次官

主管人事課長

政務局長

五泉閣東都督府事務官外國出張、
件ニ關シ中村閣東都督ヨリ別紙写
入通電報有之候條以般及進達
候也

大正六年六月二日 記録第一號

外務省

大正六年五月廿四日

大臣

内閣總理大臣宛

(閣東都督ヨリ電報厚紙付)

6-0257

0638

写

旅順 大正六年五月 二十一日 四〇八
中村 閣東都督

本野 外務大臣

秘書 四八部

當府 事務官 五泉 賢三 支那出張 件五月

二十一日付 漢金相成 八歳更 香港及澳

門出張 追加 咸度 票中 大内閣總理

大臣

大正六年六月二日 記録第二部 接受

電信課長
文書課長
主査

大正六年五月廿八日
同 年 月 日 附
起草

送第 號

主任

主管人事課長了

電送第二八三六號平
六年五月廿八日 午後四時廿分發

電信案

關東都督府秘書課長

人事課長

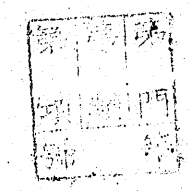
初五日

大正六年六月二日 記録第二部 接受

外務省

貴電秘力四号五月二十八日發令

セラル



6-0257

0640

電信課長



大臣

次官

古

本野外務大臣

関東都督

都督府書記 大正六年七月二十日 午後二時
本省より 七三〇四 (平)

秋中九八號

旅順工科大学助教授関真ツ電氣工

學卒業視察中、為ノ天津北京張家口漢口

南京上海へ出張セシタリ御認可ヲ請フ(往復

三四日間) 内閣總理大臣

文書

會計

通商

人事

參政官

副參政官

大正六年八月十五日 記録第二部 抄

6-0257

0641

文書課長

大正七年 八月三十一日起 草
同年 月 日 附 送

送第

號

主任

主管 人事課長

政務局長

大正六年八月十五日記録第二部接受

内務省 内務大臣

旅順工部局 助教授 岡田 支

那古張ノ件ニ関シ中村岡田部督日

外務省

リ別紙寫ノ通電部有之ハ多

ルメ及通電也

七月三日 奉令

次官 十

6-0257

0642

七三〇四 (平) 都督府 本府 大正六年七月三十一日 后六五

本野外務大臣 関東都督

秘中九八號

旅順工科學堂助教授関直之電氣工
學事業視察令為ノ天津北京張家口漢口
南京上海へ出張セシメテ御認可ヲ請フ(陸續
三四日間)内閣總理大臣

大正六年八月十五日 記録第二部 接受

電送第三九九八號
大正六年七月十一日午後四時三十分發

東京課長



大正六年七月十一日
同年起草
年月日附
初日

送第

號

主任

主管人事課長

電信

人事課長

関東都府秘書課長

第六三號

大正六年八月十五日記録第二部

外務省

貴電祕第九八號
七月三十一日發令也

ラ

(関助教授出張件)

6-0257

0644